





































津幡屋與四兵衛旧蹟

義人 津幡屋與四兵衛は、御車山騒動（高岡御車山に類似する曳山を禁止する争い）の最も盛んであった安永年間の頃、この地二番町に住み若衆頭として御車山護持の先達となり曳山に尽くしていたものである。

安永四年（一七七五）八月、與四兵衛は若者数名とともに放生津の祭礼に赴き、藩の指令に背く曳山であるとして強く談判し町民との間に大騒動を引き起し警戒中の役人に捕えられ投獄されたのである。與四兵衛は、獄中にあつても高岡御車山の尊い由来、特別の由緒を申立て在牢九ヶ月の吟味に耐え翌年病を発し獄死したものである。

以来高岡町民は、一身を犠牲にしたこの義挙を大いに讃え御車山の守護神として関野神社境内に祠を建てその霊を慰め今日に及んでいる。

またこの地は、津幡屋與四兵衛にはゆかり深き住居地であるので、ここに顕彰のため永く保存するものである。

高岡御車山保存会

























































































